

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和6年度第4回南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和7年2月18日（火曜日） 14時40分～16時20分
場所	南小学校 わくわくルーム
出席委員	宇津木委員、内野泰委員、大塚委員、佐藤孝委員、佐藤嘉委員、佐鳥委員、三浦委員、金泉委員、藤尾委員、田中委員、山口委員、廣田委員、内野昌委員、高橋宏委員、黒川委員、鯨井委員、田嶋委員（南中校長）、小川委員（南小校長）
欠席委員	鈴木委員、高橋則委員
事務局	南小学校 目黒教頭 南中学校 藤田教頭、長村事務主任
議題	（1）第3回学校運営協議会議事録確認 （2）令和6年度学校評価の結果について （3）その他
配布資料	・令和6年度鶴ヶ島市立南小・中学校 第4回学校運営協議会次第 ・鶴ヶ島市立南小学校 学校だより及び活動の様子 ・鶴ヶ島市立南中学校 学校だより及び活動の様子 ・令和6年度第3回学校運営協議会議事録 ・南小学校学校評価 報告書 ・南中学校学校評価 報告書 ・令和6年度第5回学校運営協議会の開催について（通知） ・第40回 卒業式の御案内（南小） ・令和6年度卒業式について（南中）
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	【報告】 ・教頭が学校の様子について報告した。 【議題】 （1）第3回学校運営協議会議事録確認 ・確認した。 （2）令和6年度学校評価の結果について ・グループワークで評価結果について意見を交わした後、全体で共有した。 （3）その他 ・来年度の学校運営協議会の委員について、南中校長が新たに1名推薦する提案をした。 【連絡】 （1）各団体から 今後の予定

	・学校、地域、各団体の行事、活動の様子、今後の予定について確認した。 （２）学校への意見・要望等について ・特になし
--	--

【議事概要】

○会長あいさつ

- ・本日は定足数を満たしております。また、傍聴の希望はありません。
 - ・今年度の学校運営協議会は本日と第５回のあと２回となりますが、これからの学校運営協議会では来年度の学校運営方針を決めていきたいと思ひます。
 - ・前回は学校評価について、説明を交えつつ学校を理解しながら、というスタンスで評価を行いました。その結果が議事録に記載されています。
- それをふまえて、本日は学校評価の結果についてグループワークで進めていきます。一つ二つでも新しいアイデア、考え方が見つければよいと思ひます。

○校長あいさつ

<南小校長>

- ・今年度の学校生活も残り１か月ちょっととなりました。学校運営協議会の委員の皆様を支えられながら学校経営を行っているところです。
- ・現在南小、南中とも大きな事件事故なく、児童生徒は順調に学校生活を送ることができています。来週中学校では学年末テスト、３年生は公立高校の入試というりと忙しいところです。
- ・試験、入試の備えもあり、体調の悪い生徒もいたということで中学校においては学年閉鎖、学級閉鎖という状況もありました。小学校は今のところ大きな体調不良の児童等はいませんが、今後も気を付けていきます。
- ・本日授業を参観していただき、いかがだったでしょうか。正直課題はたくさんあるかもしれませんが。しかし子供たちのいいところ、子供らしさであったり、注意されても「はい」と言える素直さであったり、時間を守って集まれることであったり、下駄箱整理とか話を聞く姿勢が良かったりとかいろいろあると思ひます。
- ・南小で校長として３年目になりますが、今総じて落ち着いた雰囲気学校生活を送れていると思ひています。中学校も同じ状況です。
- ・地域の皆様のお力を借りながら学校経営させていただいております。本日の議題の中には、来年度の学校経営に向けての学校評価があります。参考になる部分もあるので忌憚ないご意見をお願いしたいと思ひます。

報告

学校（児童・生徒）の様子

<南小教頭>

- ・ 1、2年生の校外学習はこども動物自然公園。2年生がリーダーになって1年生を連れて班別行動。2年生がとてもお兄さんに見えた。
- ・ 3年生の総合的な学習の時間では健全育成会の方をゲストティーチャーとしてお招きして地域の防犯、安全などのお話をいただいた。地域の安全MAPなど防災を考える授業のスタートのところでやっていただいた。
- ・ 4年生は国際理解教育でヒッポファミリークラブさんという団体に来ていただき、いろいろな挨拶の仕方、言葉などに触れた。
- ・ 5年生は校外学習で群馬県のスバルの自動車工場で製造過程を見学した。
- ・ 4年生はリトルプリンスクラブさんに講師に来ていただいてハンドテニス講習会。ハンドテニスの最初の授業で楽しみながら学んだ。
- ・ 3年生は音楽朝会でハッピーソングの合唱とパフのリコーダー演奏。
- ・ 全校でのきらきらフェスティバルは南小のお祭りのようなものであり、縦割り班でゲームを考え、お店を楽しむことと運営とを前後半で交代しながら行った。落ち着いて楽しんでた。
- ・ 1年生の幼保小の交流会では、地域の4つの幼稚園・保育園が来校し、1年生が手をつないで教室を案内した。来年度入学予定の子たちは楽しそうにわくわくしており、今の1年生は立派なお兄さんお姉さんらしく見えた。

<南中教頭>

- ・ 3年生は学校版トリアージ教育。女子栄養大学の学生を中心に中学校のトリアージ教育に取り組み、今年で2年目となる。トリアージの意味と優先順位の付け方、被災時の対応について学んだ。
- ・ わいわいがやがや祭りのボランティア。これは人気が高く、たくさんの生徒が集まった。とてもいい経験ができたと思う。
- ・ 避難、消防訓練について。消防署から来ていただき、1、2年生は消防車の説明と消火訓練、煙中訓練。3年生はAEDの使い方と心臓マッサージの講習を受けた。
- ・ 1年生の宿泊学習では今年度も新潟の湯沢に行った。雪がたくさん積もっているところを見るのが初めてという生徒も多く、いい経験ができた。
- ・ 2年生の修学旅行。今年は行程の2日目に皆着物で街を歩くという体験をした。
- ・ 新入生説明会では保護者にSNSに関する講義をまず行った。次に子供も入って説明を行い、その後部活動体験を行った。
- ・ 保健委員会と生徒会本部の朝会。本部の方では学校に関する問題を出題したり、校長直筆の学校教育目標をプレゼントしたりした。
- ・ あとは大詰めで卒業式となる。

議題（1）

令和6年度第3回学校運営協議会議事録確認

<会長>

今回は学校評価の各項目について説明を交えながら評価を行ったので、議事録にボリュームがある。この後のグループディスカッションの時に見直して思い出してい

ただければと思う。

議題（２）

令和６年度学校評価の結果について

<南小教頭>

- ・南小、南中それぞれの学校評価の結果の冊子を用意してあります。
- ・教職員、生徒、保護者、地域それぞれの評価結果のデータを見ていただき、それから分析、方策を見ていただければと思います。
どのように受け止めたか、担えることは何であるか、学校に期待することなどを考えてください。
- ・一つにまとめるのではなく、それぞれのグループでフリートークで話していただき、出た話題を最後に全体で共有したいと思います。
- ・流れとしては、自チームの担当領域について話をしていただければと思います。
- ・記録用紙があるので最初に５分程度で自分の感想を記入していただき、次にそれをもとにグループでのフリートークを３０分を行います。
グループ内の学校関係者が記録をし、その後全体で発表を行います。
共有の時間は一班２分程度、５グループで１０分です。

<会長>

- ・我々が前回行った評価は地域のところに入っているのか？

<南小教頭>

- ・地域のところに学校運営協議会の評価が反映されています。地域の評価と比べて他の立場の評価はどうだろうか、など話していただけるとありがたいと思います。

○以下、各グループで領域を分担して話し合った。

<Aグループ>学校教育目標、学校経営方針

- ・小学校では地域の①そう思うが一番評価が高い。教職員、生徒、保護者の部分をもう少し伸ばしていければいいのか。
- ・保護者の②だいたいそう思うが６９％あるが、どこまで理解されての回答なのか。
- ・中学校の保護者「わからない」の５％はどういう理由で回答されているのだろうか。学校に期待することとして、小学校では理解するということまでは難しいかもしれないが、学年に応じて理解しやすい言葉で伝えていくことが必要ではないか。
- ・少子高齢化が進むと子供のいない家庭も増えるため、学校に関心を持ってもらうために地域のお祭りや行事に校長が出席して地域の方に教育目標や教育方針をアピールしてはどうか？などの意見も出た。
- ・家庭同士でのやり取りが難しくなっている昨今、保護者の中には公園デビューな

らぬ学校デビューが怖いという方がいることも考えられる。保護者が孤立してしまうことが怖いので、保護者のコミュニティを作ることができたらよいのでは。中学校には部活動があるので、小学校の方で何か考えていけたら。

- ・「学校が楽しい」が小中それぞれ74%や63%ということですからしい。不登校の未然防止にもつながっている。
- ・一方で、不登校の子供たちの意見はアンケートには反映されていないので、個に応じて丁寧に関わっていくことが必要。児童生徒、保護者と丁寧にコミュニケーションをとって困り感に寄り添っていきたい。
- ・小学校では外国籍児童が増えており、将来的には中学校にも上がってくる。文書や掲示物は日本語のものだけである。可能な範囲でそれらに英語も併記すると一層保護者の理解も進むのでは、という意見が出た。

<B チーム>学習指導

- ・児童生徒の評価は二極化しており、ネガティブな考えの子も一定数いるのでは。自信がないと感じてしまっている子も多いのではないか。
- ・特に小学校において、教職員の「そう思う」の割合が昨年より少し減っていないか、というご意見があった。
教職員の年齢構成の変化や職員の入れ替えもあるのでなかなか今までと同じような状況とはならないが、いいかたちでは進められているというお話はした。
- ・学習用端末は鶴ヶ島市が保護者に貸与して、保護者が子供に使用させているものだが、端末にフィルタリングの設定がない。家庭のスマホは保護者がフィルタリングを設定しているが、学習用端末はフリーな状況になってしまうので制限できる方がよいのでは。家庭内でのルール作りの一つとしてそういうものもお願いしたい。
- ・夏休みの宿題について、小学校は今は選択制にしており少なくなっている。ところが中学校に上がると急に束になるのが厳しい状況。小学校で少なくなっているのは保護者が面倒を見切れないということも理由の一つである。今後、AIドリルの導入などはどうか。個別に取り組むもの。

<C チーム>体力・生徒指導①

- ・外部機関が継続的に入ったらよりよいのでは？
- ・南中の保護者の評価③④⑤が一定数いるのは、部活動の縮小が影響しているのでは？
- ・小学校の夏休み、冬休みの体力貯筋の取組を日常化、継続化することでより体力がつくのでは？
- ・生徒指導①について。今日見ていて先生たちがやわらかい言葉で指導していると感じ、そういうところも子供たちが落ち着いていられる理由の一つではないか。
- ・南中の保護者では③④⑤合わせて31%あることが課題ではないか。今後どうしていくか。中学校だけでなく小学校からの連携、引継も関わってくる。今後も小中の連携で取り組んでいけるとよいのではないか。
- ・年5回のなかよしアンケートの継続や、子供たちが相談しやすい環境を今後も作っていくこと。地域や家庭ではいざという時に相談できるような人、場所を作っ

ていくことが大事になってくるのではないか。

<D チーム>生徒指導②、特別支援教育

- ・フリートークということで、担当の領域に留まらず地域で考える問題の話が多かった。
- ・特別支援教育というのは個別のものであって、それを評価することは大変難しい。
- ・学校に期待することとしては、学校評価の考察で出ていた相談していい空気づくりが実行されたらよいのではないか。
これについては、南小中が少人数であることはメリットになるのではないか。
- ・地域で担えることとしては、大人も差別のない態度、雰囲気づくりを示していきたい。
- ・特別支援教育については家庭からのネガティブな意見のパーセンテージも高いが、学校から踏み込むことが難しい部分もあるので、家庭からも開いていただけるようにしたほうがよいのではないか。

<E チーム>地域とともにある学校、働き方改革

- ・小中とも地域の行事には積極的に参加しており、中学校ではボランティアとして活動しているので比較的肯定的評価が高い。
- ・働き方改革については難しい。学校の仕事を外に出してボランティアで担うということは難しいのではないか。市、県、国がもっと経費をかけて本格的にやっていくべき。
- ・学校に期待することと地域で担えることを同時に考えたところ、学校がどんな人を募集しているということが地域に伝わると地域としても協力しやすい。
- ・中学校でPTAを活用した活動は増えたが、保護者だけでなく地域の方にもアピールして募集をかけたらかうか。
- ・地域で学校に協力していくことを考えていなければいけないが、難しいとも思うが意見交換の場を地域の中でも設置していかなければならないのでは。
- ・学校では地域からいろいろな支援を受けているが、その状況を教員や保護者に伝えきれていないことは否めない。ホームページやその他で情報発信をうまくやっていきたい。
- ・学校職員の意識改革も必要。学校運営協議会、学校応援団の意義をアピールして意識をもってもらいたい。学校応援団の方々が小中でいろいろやっていただいていることをもっと学校職員に伝えなければならない。

<南小教頭>

- ・皆さんのご意見ありがとうございました。学校評価の方に載せます。
- ・班の記録と個人のメモをこの後回収します。

議題（３） その他

<南小校長>

来年度の学校運営協議会の委員について、基本的には継続でお願いしたいと考えている。難しい場合はご連絡ください。

<南中校長>

来年度の学校運営協議会の委員について、新たに1名推薦したい。資料を配布する。

○南中校長が新たに推薦する委員について説明した。

<委員>

この方が関わるのは南小中の学校運営協議会だけか？

<南小校長>

そうです。南中での学校版トリアージなどでのご縁がもとになっている。

<委員>

賛成である。せっかくなら他の学校にも推薦してもよいのではないか。

個人的な意見として、市教委が学校運営協議会を一度も見に来ないことが気になっている。直接伝えたこともある。この場で話し合ったことでも、市教委の了承がないとできないことも多いと思う。地域の方がこれだけ集まって見えないところの情報をたくさん持っている。

今回推薦された方についても、市として受け入れるなどしたらよいのではないか。

連絡（１）

各団体から 今後の予定

<南小教頭>

- ・南中の卒業式は3月14日、南小は3月24日。3月26日が修了式。
- ・卒業式へのご参加をお願いします。

<委員>

入学式の日程はいつか？

<南小教頭>

4月8日です。案内は第5回の学校運営協議会の際に出します。

<会長>

昨年度行った中学生ボランティアへのヒアリングを今年度も行いたい。日程については卒業式の二日前くらいで。

ヒアリングの趣旨はいろいろな行事における対応の仕方、もっとうまく行事を盛り上げる意見を聞きたい。また、ボランティアは中学生の役に立っているのかを聞き

たい。

○3月12日13時半から南中学校 翔南ルームに決定した。

＜南小教頭＞

他団体で今後の予定をお伝えいただけたところはありますか。

○サザン地域支え合い協議会

- ・放課後子供教室で農業体験を行い、12月で終わった。来年度も継続予定である。
- ・藤中駅伝部の全国大会出場に伴い寄付をした。
- ・1月12日、他の団体とともに成人式の手伝いをした。
- ・2月19日、地域防災の関係で鴻巣市にある防災学習センター、吉見浄水場の見学を行う。
- ・2月25日、下校の見守りメンバーの懇談会。

○健全育成

- ・わいわいがやがや祭りでは社会福祉協議会から補助金をいただいて事業を行ったので、その報告会が3月16日にある。
- ・2月15日に講演会を行った。SNSをどのように扱ったらよいかという内容。疑いながら、できれば使わないことが一番よいが、うのみにしないで安全を確保する、という話があった。子供たちにも聞かせることができたと思う。

○太田ヶ谷自治会

- ・1月25日に子供と大人の集いを開催した。けん玉、羽根つき、魚釣り、的当て、シャボン玉、お笑い漫談、割りばし鉄砲作り、鬼の面作りなど。餅つき体験、豆まきもあった。大人が65人、小学生が30人、未就学児が27人。小学生も親子で来ているような感じがする。昨年からは2倍くらい来ている。
太田ヶ谷の催しだが、2割ほどは近隣の子供も来ている。
- ・目的としては、子供にいろいろな体験をさせたい。役員と会話することで地域の大人と子供、保護者の距離感を縮めたい。また、季節感を感じられるものもある。来年もたぶん行う。

○南小PTA

- ・12月10日、藤小の避難訓練を見学した。県の事業であり、今年度からの取組。大学の災害の先生をお招きし、真夏や大雨の時の対応を学んだ。来年度からは市内各校で避難訓練の在り方を考え直して取り組むと聞いている。
こういう場でも議論できたらいいという時に小学校、中学校の子供たちをサポートできる体制づくりにつながるのではないかな。
- ・災害時、保護者が帰宅難民になった場合子供たちはどこに行くのか、個人的には悩んでいる。保護者が家に帰ってこられなくても親が安心できる環境をどう作るか。学校評価も大事であるが、そういうことも協議会の中で議論できたら、と個人的には思う。

連絡（２）

学校への要望・意見

<南小教頭>

何かございますか。

○特になし

<南小教頭>

次回は３月１７日に南中学校での開催です。

<会長>

今日の意見をまとめながら方針などを進めていく。

以上で学校運営協議会を終了いたします。ありがとうございました。